

桐生西ロータリークラブ週報

2009-10年度RIテーマ

ジョン・ケニーRI会長 ロータリーの未来は
あなたの手の中に



例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi
 会長 下井田秀一 クラブ会報・雑誌委員長 松原 豊
 幹事 向田 靖 委員 井本上輔・正田恵一

No. 1744

2009年11月13日発行

第1851例会 (2009・11・6) 報告

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. 点 鐘 | 9. 乾 杯 |
| 2. 国歌斉唱 | 10. 食 事 |
| 3. 四つのテストソング | 11. 委員会報告 |
| 4. 来訪者紹介 | 12. ライラ修了証書授与 |
| 5. 出席100%表彰、誕生・結婚祝い | 13. ライラ研修報告 桐生西RAC幹事 小川克行君 |
| 6. 会長報告 | 14. 会員卓話 |
| 7. 幹事報告 | 15. 点 鐘 |
| 8. 次次年度会長・次年度理事役員候補者発表 | |
- 例会終了後定例理事会開催

◆ビジター

桐生RC 前原 勝君
 ライラ研修生 (桐生西RAC幹事) 小川克行君

◆出席100%表彰

(38年)
 星野幸男君



◆誕生祝い



中野幸三郎君、天沼一夫君、船戸義澄君、小林恵司君

◆結婚祝い



鳥嶋隆一君、根本正則君、東郷庸史君、符波明道君、
 前原榮一君、船戸義澄君、向田 靖君、斎藤憲一君、
 下山 洌君、正田恵一君

◆会長報告

下井田会長

1. 次週が100%出席例会ですので、ご協力の程、お願い致します。どうしても出席出来ない方は前メイクをお願い致します。
2. 本日この後、アクトの小川君からライラ研修報告を、また次次年度会長・次年度理事役員候補者の発表を行う予定です。

◆幹事報告

向田幹事

- ◇ガバナー月信11月号が配信されました。(各テーブルに配布)
- ◇本日例会終了後、1Fにて理事会を行います。
- ◇家族会秋の食事会の写真を該当者に配布致しました。
- ◇次例会の会場は桐生プリオパレス1Fとなります。
- また、次例会終了後例会運営委員会を開催致します。
- ◇地区茶の湯研修会のご案内 (各テーブルに配布)、
 (株)フジマキネクタイよりロータリーグッズカタログ、
 桐生市社会福祉協議会より「福祉ぐんま2009年秋号」、
 以上のものが届いております。

◇例会変更のお知らせ 桐生中央RC 11/12

◇クラブ会報が到着しています

桐生RC 11/2 桐生南RC 10/8,10/28 桐生赤城RC 10/20

◆次次年度会長・次年度理事役員候補者発表

下井田会長より次次年度会長候補者の、片貝会長エレクトより次年度理事役員候補者の発表が行われました。候補者は下記の通りです。

2011-12年度	会 長	江原 利夫君
2010-11年度	副会長	東郷 庸史君
〃	理 事	星野 幸男君
〃	理 事	家住 慧路君
〃	理 事	根本 正則君
〃	理 事	正田 恵一君
〃	理 事	坪井 良行君
〃	理 事	向田 靖 君
〃	幹 事	近藤 幸利君

◆乾杯



鳥嶋パスト会長

私は来年金婚式を迎えます。老いては子に従えと云いますが、私の家庭では「老いては家内に従え」という事になっております。

本日お祝いを頂いた皆様、誠にありがとうございます。それでは会員皆様のご健勝ご繁栄を祈念し、乾杯のご唱和をお願い致します。

◆食事メニュー

1220キロカロリー

若鶏のみぞれ煮、風呂吹き大根のカニあんかけ、白飯、白菜と豆腐の味噌汁、香の物、南瓜プリン

◆委員会報告

□出席委員会

花房委員長

総数49名(免除者9名の内3名出席の為6名を除く)
出席率対象者43名、出席率対象者出席人数36名
欠席者7名(内前メイク4名) 出席率93.02%
前々例会修正出席率93.18% (最終欠席者3名)

□ニコニコBOX委員会

石川委員長

度々メイクでお邪魔します 桐生RC・前原勝君
小川君ライラ研修ご苦労様でした
下井田君、坪井君、稲森君、乾君、津久井君
会員卓話ご苦労様です 近藤君、栗原君
誕生祝いをいただいて 中野君、天沼君、小林君
結婚祝いをいただいて

根本君、鳥嶋君、正田君、前原君、東郷君
来週は100%出席例会です。会員皆様のご協力宜しくお願いします 花房君
根本さんいつも美味しいコーヒー有難うございます 阿左美君

□ロータリー財団委員会

前原委員

小川君ライラ研修ご苦労様でした
稲森君、乾君、正田君、近藤君
卓話をさせていただきます 津久井君
会員卓話ありがとうございます 阿左美君
結婚、誕生祝をいただいて 船戸君
誕生祝いをいただいて 天沼君、小林君
天沼さん明日は60歳の誕生日おめでとうございます 花房君
来週の子金子パスト会長様卓話楽しみにしています 江原君
昨日有明ビッグサイトで木村剛さんの話を聞いて来ました 家住君
写真をたくさんありがとうございます 根本君

□米山奨学委員会

坪井委員

小川君ライラ研修ご苦労様でした 稲森君、乾君
ようこそRAC小川幹事 前原君
卓話をさせていただきます 津久井君
誕生祝いをいただいて 天沼君、小林君
しばらく欠席が続きました 根本君
48年振りに奈良京都へ行ってきました 石川君
矢野会員、斎藤会員いつももお元気に 阿左美君
前原さんのお母さんにいつもお世話になります 家住君
米山月間ではご協力ありがとうございました。これからもご協力をお願い致します 船戸君

◆ライラ修了
証書授与

RA委員長
津久井正義君

桐生西RAC幹事
小川克行君



ライラ研修報告



桐生西RAC幹事

小川克行君
(希望の家勤務)

桐生西ローターアクトクラブの小川克行です。10月24～25日(土～日)に第9回ライラ研修に参加させて頂きましたので、ご報告させていただきます。

今回のライラ研修の概要ですが、会場は国立赤城青少年交流の家で、テーマは『感謝伝心』—感謝の気持ちをどう表現していますか?感謝の心を伝えるために...です。“人は家族・友人・同僚・地域社会等、多くの人との関わりの中で生きている。相手を思いやる気持ちをお互いに持ち合いながら、心から感謝し、出会った幸せを感じて生きよう。”

感謝の気持ちをどう表現し、その心をどの様に伝えていくか。その努力の結果、絆が深まり人間関係をより滑らかにする社会へと進んで行くのではないのでしょうか。”という内容のテーマで2日間研修が行われました。

研修日程ですが、開会式の後、斉藤敬蔵氏と桑原和彦氏のゲスト講演がありました。その後、グループディスカッションを行い、夜にはコンサートがありました。2日目は、国立赤城青少年交流の家の周りを散策するオリエンテーリングを行い、その後でN T Tの講演会という事で携帯電話についてお話を頂きました。最後に1日目のグループディスカッションの内容の発表を行い、閉会式で終了しました。

それでは講演についてお話させていただきます。最初の榊中村建興斉藤敬蔵氏の「困難は幸福を開くチャンス」ですが、この方は東京都足立区にある主に下水の整備の仕事に就かれております。以前読売新聞の「働く生き甲斐」というコーナーにこの方の事が掲載され、ライラ研修ホストクラブの前橋西RCの目にとまり、講演を依頼されたそうです。斉藤氏は最初自動車工場で働いていましたが、2年続けて入院した為、解雇されてしまいました。大腸炎を患い奥様が熱心に看病をされたそうです。友人も最初は心配して来てくれたそうです。しかし段々避けられる様になり人間不信に陥りました。そんな時、昔の先輩からしっかり働かなければ駄目だと言われ、更に新しい出会いもあって今の会社に就職したそうです。辛い時に支えてくれた奥様や先輩に大変感謝しているそうです。斉藤氏の講演で一番印象に残っていることは、“職を選んでいけない”という事です。仕事を選ばなければ仕事はある。斉藤氏の会社はいわゆる3K(厳しい、汚い、危険)ですが、そういった環境の中でも頑張っ



でも頑張っ

ピックでもジャッジをしたそうです。桑原氏は野球を通して人への敬意の示し方をお話して下さいました。小さい時から野球をしている日本人は、キャッチャーがミッドを動かす事を教わってきているそうですが、海外ではキャッチャーがミッドを動かす事は審判を騙す行為であり、有り得ない事だそうです。また海外では審判は敬意を払われる存在ですが、日本ではプロで通用しなかった人が審判になる事が多い為か、審判に敬意を払わない傾向があるそうです。桑原氏の話聞いて、相手を認め、敬意を払って人に接する事の大切さを学びました。

その後、「感謝伝心」というテーマに沿ってグループディスカッションを行い、その発表を2日目に行いました。その中で印象に残った事は、「親への感謝」、「食べ物への感謝」、「普段当たり前だと思っている事が本当はとても有り難い事」、また、「近頃“お陰様”という言葉が減ってきている事」などが上げられた事です。

2日目の国立赤城青少年交流の家の周りを散策するオリエンテーリングですが、所々にチェックポイントがあって、制限時間内にどれだけ多くのポイントが取れるかをグループ毎に競いました。このオリエンテーリングを行う事によって、施設周辺の自然に触れ、酸性雨と松食い虫の被害にあつてダメになってしまった松林の実体を知り、地図を頼りに行動することでグループがまとまり、同時に一人一人が自然と役割を持って行動し始めた事等、大変有意義な結果を得たプログラムでした。

最後に、今回の研修を通しての感想を述べさせていただけます。初めて会う様々な人達と交流が出来た事が一番の経験でした。色々な国から来ている米山奨学生や交換留学生、ロータリアンやインターアクトの高校生等、普段出会えない人達の交流は楽しかったです。今回の研修の成果を今後のロータリーアクトの活動に繋いで行ければと思っております。

研修に参加させて頂いて、ありがとうございました。



ロータリーアクトクラブの活動には主に3種類のプログラムがあります。①専門知識開発 ②指導力の開発 ③奉仕プロジェクトです。この3つを実施することで、ロータリーアクト一人一人にとって重要な経験と人間的成長が形成されて行くのです。

ロータリークラブの提唱によるロータリーアクトクラブは現在163カ国を超える国々に存在し、クラブ数は7,100クラブを超え、会員数は約17万人に達します。

発足の経緯は、1967-68年R I 会長ルーサ H. ホッジス氏とR I 理事会が、各地域の青少年グループの社会奉仕活動に国際性があると考え、その結果、ロータリーアクトはロータリークラブの公式プログラムとして承認されました。1968年3月13日に最初に承認されたクラブは米国ノースカロライナ州のノースシャルロット・ロータリーアクトクラブでした。

桐生西ロータリーアクトクラブの歴史は、1990年3月2日、25名の会員によって発会式を開催しました。同年5月6日認証伝達式を行いました。当時の会長は藍原等さん、そしてアクトの発足に携わった実行委員長の平澤宏さんには大変お骨折り頂いたと伺っております。その後10周年記念式典が、2000年5月21日に鳥嶋隆一会長、前原榮一ロータリーアクト委員長のもと開催されました。

そして来年2010年には20周年を迎えることとなります。桐生西ロータリーアクトクラブと私達桐生西ロータリークラブが、現在から未来へと飛躍の希望を持ち、次の世代へとバトンタッチしていけるよう、会員の皆様より引き続きご支援をお願い申し上げます。

最後になりますが、来春20周年を祝う例会を行いたいと思います。下井田会長始めアクトのお二人と良く相談して日程等、考えて参ります。皆様にご協力をお願いすると思いますが、宜しくお願い致します。そしてアクトのメンバーをを温かく支援して頂きたいと思っております。



高森 勉 君
(遊技機具施工)

「私の近況」

私は入会させて頂いて、早いもので来年の2月で丸9年になります。依然として最年少会員です。

本日は私の近況についてお話させて頂きます。仕事はパチンコ屋さんの中を営業出来る設備にすることです。取引先は名古屋の(株)ニューギンさんで、「あそびにマジメ」というサブタイトルを付けてましてかなりCMをうっております。非常に前向きな会社さんです。

私の娘が自閉症で、9月9日からソーシャルスキルトレーニング(社会性を担う為の訓練)と自分の身近事実が出来る様なトレーニングという事で、世田谷の病院に入院しております。娘を通して、グレーゾーンな子供達が一杯居るという事実を知りまして、私が仕事をさせて頂く中で、何か出来ないかとずっと考えておりました。

ニューギンさんに、そういう子供達でも出来る仕事がないかと色々打診しておりましたら、最近の話なのですが、そういう子供達でも出そうな仕事があるので、是非進めてくれということになりました。群馬県の担当の人とこれから動き出すというところまで漕ぎ着けました。これから下地作りを始めますので、まだまだ時間は掛かると思いますが、関係される方々、追々はクラブの方々

会 員 卓 話



津久井正義君
(日本料理)

「ロータリーアクトについて」

今年度、私はロータリーアクト委員長を務めておりますので、ロータリーアクトについてお話をさせて頂きます。

ロータリーアクトとは、専門職に携わり、自身の地域社会を改善したいと願う18才~30才までの若い成年男女のための国際プログラムです。そして、ロータリーアクトクラブは平和と国際理解を世界にもたらす地球規模の活動の一環です。この活動は地域社会レベルで始まりますが、そこからどこまでも活動を広げることができます。ロータリーアクトは、国際ロータリーとロータリー財団の参考資料や各種補助金を利用することができます。国際ロータリーは、ロータリーアクトクラブを発展させるために管理運営面で支援します。

や諸先輩方の方々の色々な御意見を聞きながら、是非やって行きたいと思っております。

そういう中で、さかのぼって8月7日に家内に乳癌が発症しました。想定外な出来事でした。全く偶然ですが、娘の入院日が家内の手術日と重なりました。当日私は娘を世田谷の病院に送り届けました。私は年中外へ飛び回っているものですから、逆に誰もいない家で2～3週間過ごすことは、結婚して初めての体験でした。先程のライラ研修報告でも「感謝」という言葉がありました。家族への感謝、周りへの感謝、そして仕事をして行く上で、このクラブの会員であり続けたいという気持ちを自覚しました。なかなか出席出来なくて非常に申し訳ないと思いますが、仕事をさせて頂いている以上クラブに在籍し続けたいと願っております。精神的な支えの場所として私が求める場所がこのクラブにあります。

こういうお話の場をいただきまして、乳癌の健診の大切さを皆様にお伝え出来たらと思います。健診する事で悪い結果を防げます。若い方ほど健診率が低いのですが、私の家内と同年齢の方が同時に健診し手術しました。結果私の家内が一番軽かったのですが、手術後ステージが上がってしまった方もいらっしゃいました。大切なご家族に今日こんな話があったという事で、健診の大切さをお伝え頂ければ、今日お時間を頂いた意味があると思います。

最後になりますが、私がこのクラブの最年少会員で居続けるのはちょっときつい面もありますので、私がこのクラブに入会して良かった事をお伝えして会員増強に繋げていけばと思っております。またそうすることで、私を入会に導いて下さった諸先輩方に少しでも恩返しが出来ると思います。

パネルジー氏が2011-12年度R I 会長に指名される



1972年以来、インド、グジャラート州のパピ・ローター・クラブに所属しているカルヤン・パネルジー氏が、2011-12年度国際ローター会長指名委員会により選出されました。対抗候補者がいない場合は、パネルジー氏が10月1日をもって会長ノミニーとなります。

パネルジー氏は、インドで最大の農業メーカー、United Phosphorus Limitedの重役であり、同社のバングラデシュ支社の会長です。また、インド化学工学会(Indian Institute of Chemical Engineers)と米国化学会のメンバーであるほか、過去にはパピ工業協会(Vapi Industries Association)の会長とインド産業同盟のグジャラート支部の委員長を務めたこともあります。

ローターでは、理事、ローター財団管理委員、委員会と実行グループの委員長、国際協議会グループ討論リーダー、会長代理、地区ガバナーを歴任してきました。大口寄付者、ベネファクター、遺贈友の会員であるほか、財団の功労表彰状と特別功労賞を受賞しています。

(ローター・ワールド2009年10月号より)

注) カルヤン・パネルジー氏にご記憶ありませんか？
パネルジー氏は2002-03年矢野亨ガバナー年度の地区大会でR I 会長代理を務められた方です。御夫妻で来桐され、大会前日から3日間きのご会館に滞在され、日光観光など当クラブ会員がご案内役を務めました。

メンバーは今!! No. 44

近藤幸利会員



近藤さんは平成15年10月10日に入会した。推薦者は井本上輔会員であるとのこと。入会前には他クラブを含めて何回も入会を勧められたようである。これまでローター財団とローターアクトの委員長を経験し、本年度は副幹事を務めている。入会当初はロータークラブの

例会に出席してもそれほど楽しめなかったようである。松倉紘洋パストガバナーとは同業のよしみで親しくして、松倉PGから「ローターは真剣に向き合わなければローターの本当の楽しさは理解できない。そのためにはクラブの幹事でもやればローターが分かって楽しくなる」との助言を受けたそうである。丁度そのころ西クラブの幹事をしてくれないかとの依頼があり、あまりの偶然にびっくりしたそうであるが、松倉PGの助言もあって幹事を引き受けることにしたとのこと。

県の経済連の課長を勤めてから、かさかけの里の施設長になって12年半、経歴からして真面目一方の感がしなくもない。世間知らずの会長エレクトとのコンビで次年度のクラブ運営がどうなるかは偏に近藤さんの手腕に係っていると言っても過言ではない。堅実で順調な発展を遂げているかさかけの里の運営の経験を生かして、次年度の西クラブの運営に力を発揮してもらいたいものである。

前年度クラブ会報・雑誌委員長 片貝良一

理事会報告 11月6日

1. 福田ガバナーエレクト事務所からの次年度地区委員推薦依頼に対し、広報委員に東郷庸史君を、ローターアクト委員に坪井良行君を推薦する
2. 12月4日の年次総会の議長に下井田秀一会長、選挙管理委員長に理事の金子福松君、立会人に理事の花房孝道君、中野幸三郎君、SAAの稲森幸雄君、書記に理事の霜村年勇君を選任する
3. 家族会秋の食事会決算を承認する
4. 忘年家族会会費は会員5千円、ご家族3千円、お子様千円とする
5. 2月9日(火)の桐生赤城RC第600回記念卓話「瀬谷ルミ子講演会」に2月12日(金)の例会を変更する。費用については応分負担とする。
6. 手足を不自由な子どもを育てる運動に協賛する

(株) 大間々印刷

代表取締役 **金子福松**

みどり市大間々町大間々2271

TEL 0277-73-5555

《次例会予告》

11月20日(金) ローター財団月間に因んで
卓話 第2分区-A ポリオ・プラス専任講師 町田裕一君